

学 校 紹 介

五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校 戸敷 二郎

1 はじめに

本校は、平成27年度に五ヶ瀬町立三ヶ所中学校と五ヶ瀬町立鞍岡中学校が閉校し、2つの学校が統合されて翌平成28年度に創立した五ヶ瀬町唯一の中学校として4年目を迎えている。

現在の生徒数は65名で、町内4つの小学校からの卒業生で構成され、約6割の生徒がスクールバスでの通学を行っている。



【雪の通学路・校門前（もみじ坂）】

2 本校の特色ある取組

(1) キャリア教育の充実

10年前に策定された「五ヶ瀬教育ビジョン」を時代の変化に伴い見直しながら小学校からの集合学習（G授業）の流れを受け継ぎ、中学校独自の取組を行っている。特徴的な取組は、小学校時代にコマ打ちした原木椎茸を中学校で育て、2年時の修学旅行（東京都内）でPR販売したり、9年間の学習の集大成として3年時に町づくりへの提言GDP（五ヶ瀬デザインプロジェクト）発表を実施している。

自分たちにも社会を変える力「社会力」があることを実感させるため、各関係機関と連携しながら、また GIAHS（世界農業遺産）認定との関係性も考慮しながら高次の取組を模索している。

(2) 「早寝・早起き・朝大豆運動」の推進

昨年度策定された五ヶ瀬町家庭教育五ヶ条の根底に流れる非認知能力の育成のためには健全な心身の育成が不可欠であることから、睡眠を中心とした生活リズムの適正化に取り組んでいる。4つの小学校とも連携して「睡眠表（睡眠日誌）」の記入に取り組み、合わせて朝食に含まれるトリプトファンを確保するための「朝大豆」啓発にも取り組んでいる。

学童期に限らず幼児期から高齢期までの幅広い年齢層に様々な効果をもたらすエビデンスを示し、イメージキャラクターなどを製作したりして町民運動としての取組を展開している。

3 おわりに

一般的には不利であると捉えられがちな条件（山奥、少人数、過疎化など）を逆手にとって、新たな教育資源の開発・発掘に取り組んできた五ヶ瀬教育ビジョンの更なる進化に向けて、町内唯一の中学校としてのイニシアチブをとっていきたいと考えている。来るべき Society5.0 時代に柔軟に対応できる人材を育成するため、町民と一体となった取組を推進していきたい。

早寝・早起き・朝大豆

